

児童の実態

- 学力面では、国語科・算数科とも全国平均を上回る。
(令和4年2月実施のNRT偏差値平均(M) 国語52.3、算数52.5)
- まじめに学習に取り組むが、主体的に学ぶ態度を一層身に付ける必要がある。
- 体格・体力ともにほぼ全国平均であるが、体力向上が課題である。
- 男女仲がよく、素直な児童が多い。上級生が下級生の面倒をよく見る伝統がある。



教育目標

主体的・協働的に学び、心豊かな「かしこく、強く、明るい子」の育成

自ら学び、考え、行動する子ども

自ら課題を持ち、友達や地域の人達とともに主体的に学ぶことができる児童

健康でねばり強い子ども

めあてを持ち、最後まで粘り強くがんばることができる児童

明るく、思やりのある子ども

社会には多様な考え方や価値観があることを知り、それを互いに尊重しようとする児童

かしこく

強く

明るい子

【めざす学校像】 目標を持って取り組み、その成果を実感できる学校（児童も、教師も）

具体的な取り組み

- 一人一人が分かる授業を展開します。(授業スタンダードの活用)
- 知的好奇心を持ち、活用力、思考力を育てる場の設定
- 個に応じた指導の充実
- 地域に根差した課題をもとに、問題解決的な学習を推進します。
- 「課題を持つ⇒調べる⇒発表（発信）する」学習の推進
- 指導と評価の一体化を図ります。
- 学力テスト等の結果の活用
- 学級における基礎学力向上プランの確実な実施
- 授業外学習活動を充実させます。
- 家庭学習の習慣化（家庭学習スタンダードの活用）
- 朝の時間の活用（読書、Pタイム）
- 学習環境の充実を図ります。
- 読書量の増加をめざします。
- 地域人材の活用（キャリア教育）
- ユニバーサルデザインの視点に立った授業を推進します。(現職教育)

- 体力の向上を図ります。
- 授業での運動量の確保
- 「運動身体づくりプログラム」の継続的な実施
- 身体の動かし方やコツが分かる指導の工夫
- 健康の保持・増進を図ります。
- 養護教諭による保健指導の充実（T・Tによる授業）
- 全校歯みがきの実施及び学校医・学校歯科医との連携
- 感染症予防方針の徹底（コロナ感染症拡大防止）
- 食育の推進を図ります。
- 学校栄養士等との連携による食に関する指導の充実
- 食育に関する保護者への啓発
- 防災・安全教育の徹底を図ります。
- 一斉下校、グループ下校の実施
- 地震・津波を想定した避難訓練の実施
- 不審者対応防犯教室の開催

- 思いやりの心を育てます。
- 心のこもったあいさつ、相手を考えた言葉づかいと行動の習慣化
- 個々のよさに気づき、ちがいを大切にする場の設定（朝・帰りの会等）
- 「合理的配慮」への理解
- 児童の自主的な態度と自己肯定感を育てます。
- 授業や行事での自主的なめあての設定
- 縦割り班での活動の充実（清掃、各種集会等）
- 「勿ニエスティバル」の充実
- 心のケアを図ります。
- 児童及び保護者との個別懇談の実施
- 全児童を全職員で見取る体制づくり
- 勿来二中との連携を進めます。（中一ギャップの解消）

具体的数値目標

- NRT (M) 国語科・算数科ともに前年度値の+1ポイントアップ
- 体力テストの結果を前年度比10%アップ

